

環境調査結果のお知らせ

平成31年3月19日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15～16℃、塩分33～34、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は5mで、有害種のカレニア・ミキモイとヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温14.5～15.5℃、塩分32.7～33.7でした。
前回調査時(H31.2.21)と比較して、水温は全層で1.4～2.0℃上昇しました。塩分は全層で0.2～0.6
下降しました。

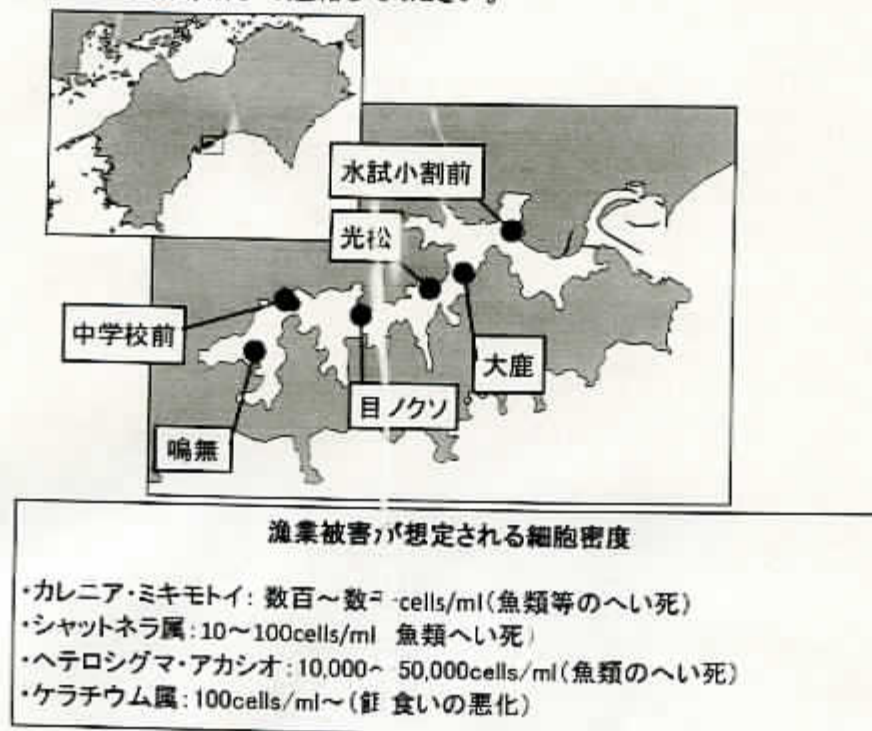
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.7～8.9mg/lでした。
前回調査時(H31.1.7)と比較して、2m層から5m層で0.1～0.3mg/l増加し、10m層から底層で0.2～
1.2mg/l減少しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は4.2～5.3mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で3cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で
1cell/ml確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどし
て、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(2/21)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	14.5	14.8	14.7	14.9	15.2	14.8	13.4	1.4
2m	14.6	14.9	15.0	15.0	15.4	14.9	13.4	1.5
5m	15.1	15.0	15.1	15.1	15.4	15.1	13.7	1.4
10m	15.0	15.1	15.2	15.2	—	15.2	13.4	1.8
B-1m	15.0	14.9	14.9	14.9	15.5	14.9	12.9	2.0

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(2/21)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.7	33.1	32.9	33.1	33.1	33.0	33.6	▲ 0.6
2m	32.9	33.1	33.2	33.2	33.4	33.2	33.7	▲ 0.5
5m	33.5	33.3	33.4	33.4	33.6	33.4	33.9	▲ 0.5
10m	33.6	33.7	33.7	33.7	—	33.7	34.0	▲ 0.3
B-1m	33.7	33.7	33.7	33.7	33.6	33.7	33.9	▲ 0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(2/21)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.9	8.9	8.9	8.8	8.5	8.9	8.9	0.0
2m	8.8	8.9	8.8	8.8	8.3	8.8	8.7	0.1
5m	8.4	8.8	8.7	8.6	8.3	8.7	8.4	0.3
10m	7.3	7.9	8.2	8.0	—	8.0	8.2	▲ 0.2
B-1m	6.9	6.7	6.7	6.9	8.2	6.8	8.0	▲ 1.2

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.6	15.6	17.3	16.9	9.4
透明度	4.8	4.8	4.7	5.3	4.2
前回(2/21)	5.2	7.4	7.5	7.2	8.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ ・アカシオ	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	350
	2m	0	0	0	250
	5m	1	0	0	100
目ノクソ	0m	0	0	0	200
	2m	0	0	0	250
	5m	0	0	0	400
光松	0m	0	0	1	250
	2m	0	0	0	150
	5m	0	0	0	40
大鹿	0m	0	0	0	250
	2m	0	0	0	400
	5m	0	0	1	150
水試小割前	0m	0	0	0	25
	2m	0	0	0	350
	5m	0	0	0	150
鳴無	5m	0	0	0	250
	8m	3	0	0	150